

脊髄神経（下肢）

■腰神経叢は、（ ）の前枝と（ ）の前枝の一部からなる。

■腰神経叢からの筋枝を持つものとして、（ ）と（ ）がある。

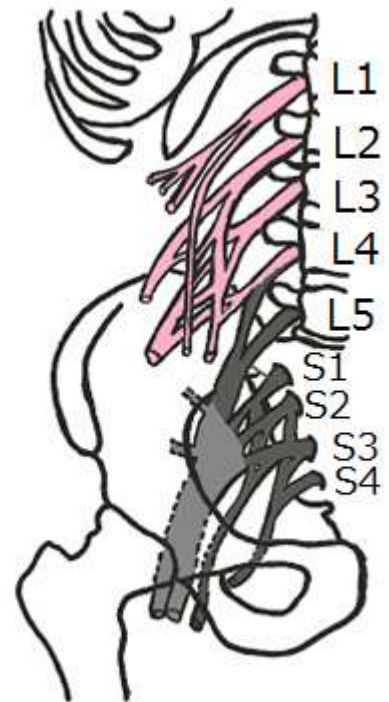
■大腿神経が支配する筋は、（ ）、（ ）である。

■大腿神経は（ ）の感覚を支配し、大腿神経の枝の（ ）は下腿の内側の感覚を支配する。

■閉鎖神経が支配する筋は、（ ）と（ ）である。

■閉鎖神経は（ ）の感覚を支配する。

■腰方形筋と（ ）は、腰神経叢から直接の筋枝で支配される。



■仙骨神経叢は第 4 腰神経の前枝の一部と第 5 頸神経の前枝が合流した（ ）と、（ ）、（ ）の前枝の一部で構成される。

■仙骨神経叢から、外閉鎖筋以外の深部外旋六筋（ ）には直接筋枝が出る。

■仙骨神経叢から出る筋枝を含む神経は、（ ）、（ ）、（ ）、（ ）である。

■上殿神経が支配する筋は、（ ）、（ ）、（ ）である。

■下殿神経が支配する筋は、（ ）である。

■陰部神経が支配する筋は、（ ）、（ ）、（ ）である。

■坐骨神経は、（ ）と（ ）が合わさった束である。

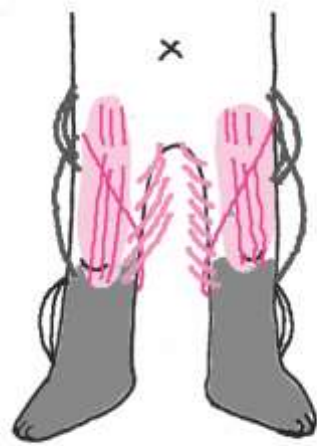
■脛骨神経が支配する筋は、（ ）の筋で、感覚の支配領域は（ ）の後面である。

■脛骨神経は内果の後ろの（ ）を抜けて（ ）となる。

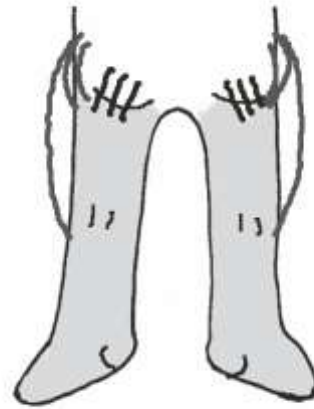
■足の母指外転筋は（ ）が、母指内転筋は（ ）が支配する。

■総腓骨神経は、（ ）と（ ）に分かれる。

■浅腓骨神経は（ ）の筋を、深腓骨神経は（ ）の筋（足関節と足の指の伸筋）を支配する。



前 面



後 面

■下肢の二重神経支配筋は、（ ）（閉鎖神経と大腿神経）、（ ）（閉鎖神経と総腓骨神経）、（ ）（長頭が脛骨神経、短頭が総腓骨神経）である。

脊髄神経（下肢）

■腰神経叢は、（ 第1～3腰神経 ）の前枝と（ 第4腰神経 ）の前枝の一部からなる。

■腰神経叢からの筋枝を持つものとして、（ 大腿神経 ）と（ 閉鎖神経 ）がある。

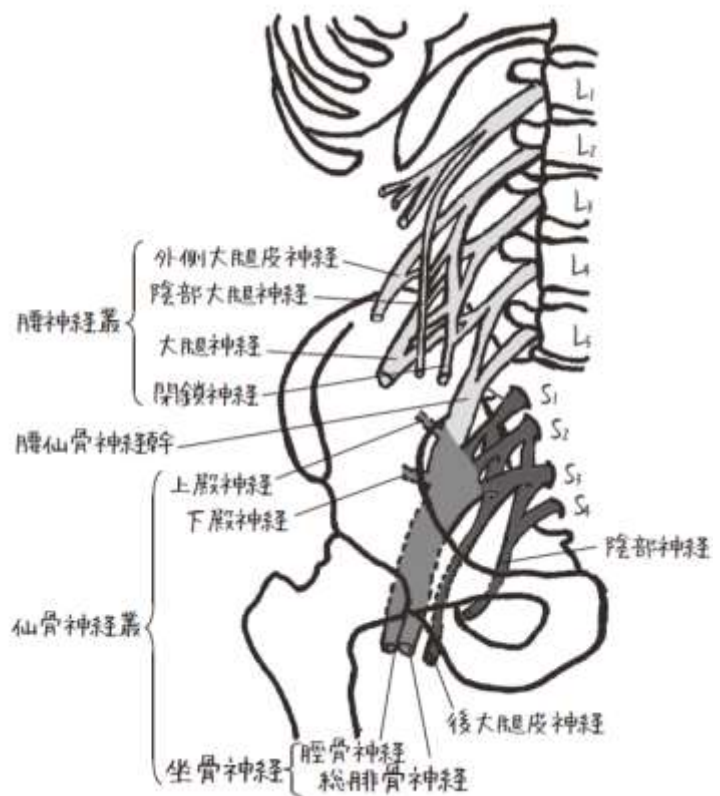
■大腿神経が支配する筋は、（ 腸骨筋 ）、（ 縫工筋 ）、（ 大腿四頭筋 ）である。

■大腿神経は（ 大腿の前面 ）の感覚を支配し、大腿神経の枝の（ 伏在神経 ）は下腿の内側の感覚を支配する。

■閉鎖神経が支配する筋は、（ 股関節の内転筋群（恥骨筋、長・短内転筋、大内転筋薄筋） ）と（ 外閉鎖筋 ）である。

■閉鎖神経は（ 大腿の内側 ）の感覚を支配する。

■腰方形筋と（ 大腰筋 ）は、腰神経叢から直接の筋枝で支配される。



■仙骨神経叢は第4腰神経の前枝の一部と第5頸神経の前枝が合流した（ 腰仙神経幹 ）と、（ 第1・2仙骨神経の前枝 ）、（ 第3・4仙骨神経 ）の前枝の一部で構成される。

■仙骨神経叢から、外閉鎖筋以外の深部外旋六筋（ 梨状筋、内閉鎖筋、上・下双子筋、大腿方形筋 ）には直接筋枝が出る。

■仙骨神経叢から出る筋枝を含む神経は、（ 上殿神経 ）、（ 下殿神経 ）、（ 坐骨神経 ）、（ 陰部神経 ）である。

■上殿神経が支配する筋は、（ 中殿筋 ）、（ 小殿筋 ）、（ 大腿筋膜張筋 ）である。

■下殿神経が支配する筋は、（ 大殿筋 ）である。

■陰部神経が支配する筋は、（ 外尿道括約筋 ）、（ 外肛門括約筋 ）、（ 骨盤底筋群 ）である。

■坐骨神経は、（ 脛骨神経 ）と（ 総腓骨神経 ）が合わさった束である。

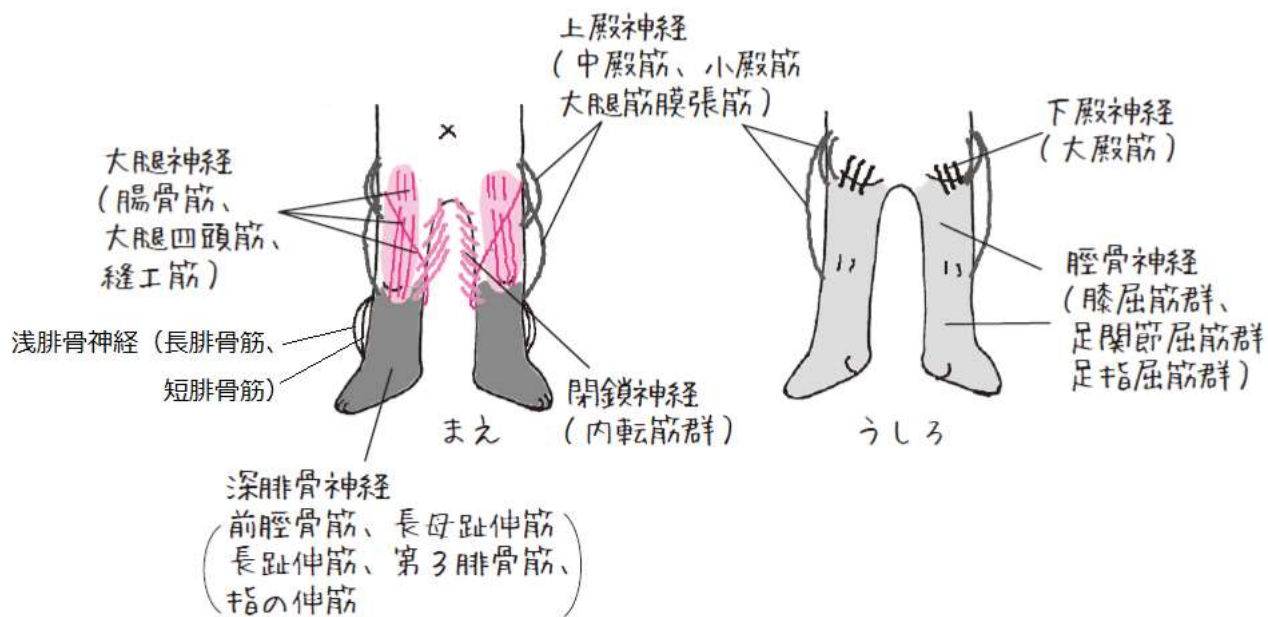
■脛骨神経が支配する筋は、（ 大腿と下腿の後面（大腿二頭筋長頭、半腱様筋、半膜様筋、膝窩筋、足底筋、下腿三頭筋、後脛骨筋） ）の筋で、感覚の支配領域は（ 下腿～足 ）の後面である。

■脛骨神経は内果の後ろの（ 足根管 ）を抜けて（ 足底神経 ）となる。

■足の母指外転筋は（ 内側足底神経 ）が、母指内転筋は（ 外側足底神経 ）が支配する。

■総腓骨神経は、（ 浅腓骨神経 ）と（ 深腓骨神経 ）に分かれる。

■浅腓骨神経は（ 下腿の外側（長・短腓骨筋） ）の筋を、深腓骨神経は（ 下腿の前面（前脛骨筋、長拇趾伸筋、長趾伸筋、第3腓骨筋）と足背 ）の筋（足関節と足の指の伸筋）を支配する。



■下肢の二重神経支配筋は、(恥骨筋) (閉鎖神経と大腿神経)、(大内転筋) (閉鎖神経と総腓骨神経)、(大腿二頭筋) (長頭が脛骨神経、短頭が総腓骨神経)である。